



## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年10月31日

上場会社名 株式会社 加地テック  
 コード番号 6391 URL <http://www.kajitech.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 博士

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 上田 成樹

TEL 072-361-0881

四半期報告書提出予定日 2019年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	2,391	11.1	30		25		14	
2019年3月期第2四半期	2,152	21.5	3		4	55.9	2	59.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	9.06	
2019年3月期第2四半期	1.57	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	8,284	5,821	70.3
2019年3月期	8,273	5,902	71.3

(参考)自己資本 2020年3月期第2四半期 5,821百万円 2019年3月期 5,902百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				40.00	40.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				40.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,500	20.2	380	69.3	440	75.5	250	57.4	151.03

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4)四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	1,718,000 株	2019年3月期	1,718,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	62,705 株	2019年3月期	62,667 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	1,655,323 株	2019年3月期2Q	1,655,333 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出しており、実際の業績は今後様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、米中間の貿易摩擦の深刻化や海外経済の減速等を背景に悪化の傾向にあります。

日銀短観(2019年9月調査)によれば、2019年度の設備投資計画(全規模・全業種)は、前年度比2.4%増と小幅な上方修正となっています。一方、経常利益計画(全規模・全業種)は、前年度比6.7%減と6月調査から2.5%下方修正されており、前述した海外情勢の懸念に加え、消費増税に伴う家計消費の冷え込みの懸念や直近に発生した台風19号の影響など、今後の先行きについては内外共に多くのリスクが残存しています。

このような状況下、当第2四半期累計期間における当社業績は、海外市場における石油精製・石油化学案件の大口径売上に加え、大口の水素関連及びPETボトル成形用案件の増加等により、売上高は前年同期比11.1%増の2,391百万円となりました。水素ステーション案件を含め、受注計画についても概ね順調に推移しております。しかしながら圧縮機市場全体で競争が激化しており、採算の厳しい案件が増えたことにより、売上総利益は前年同期比3.0%増の534百万円にとどまりました。また、販売費及び一般管理費が、電気化学式水素ポンプの開発等、新製品開発の推進による研究開発費の増加等により、前年同期比8.2%増の565百万円となったことで、営業損失30百万円(前年同期は営業損失3百万円)、経常損失25百万円(前年同期は経常利益4百万円)となりました。前年度に引き続き、2018年9月の台風21号により被災した工場等の修繕費用を特別損失として57百万円計上しておりますが、それに係る保険会社より提示のあった受取保険金61百万円を特別利益に計上しており、結果として四半期純損失は14百万円(前年同期は四半期純利益2百万円)となりました。なお、当社事業の特性上、売上高は下期に偏る傾向が強く、上記結果は当初からある程度想定しており、現状において通期業績予想の修正はありません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期会計期間の総資産は、8,284百万円で前事業年度に比べ10百万円増加しました。この主な要因は、仕掛品の増加473百万円があったものの売掛金の減少522百万円があり、流動資産が減少する一方で、固定資産において有形固定資産の増加32百万円及び無形固定資産の増加32百万円があったことによります。

当第2四半期会計期間の負債は、2,463百万円で前事業年度に比べ91百万円増加しました。この主な要因は、支払手形の減少78百万円、未払法人税等の減少59百万円及び流動負債その他の減少66百万円があったものの、買掛金の増加239百万円及び受注損失引当金の増加65百万円があったことによります。

当第2四半期会計期間の純資産は、5,821百万円で前事業年度に比べ80百万円減少しました。この主な要因は、剰余金の配当66百万円及び四半期純損失の計上14百万円により、利益剰余金が81百万円減少したことによります。

以上の結果、自己資本比率は70.3%となりました。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は573百万円で、前事業年度末に比べ17百万円の増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は87百万円であります(前年同期は257百万円の増加)。この増加は主に、たな卸資産の増加額559百万円及びその他の流動資産の増加額132百万円があったものの、売上債権の減少額671百万円及び仕入債務の増加額179百万円があったことによります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は3百万円であります(前年同期は107百万円の減少)。この減少は主に、預け金の減少額100百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出81百万円及び無形固定資産の取得による支出35百万円があったことによります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は65百万円であります(前年同期は98百万円の減少)。この減少は主に、配当金の支払額65百万円があったことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績見通しにつきましては、2019年4月26日に公表いたしました業績予想に変更はありません。  
業績予想を見直す必要が生じた場合は適時に開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	555,874	573,847
受取手形	688,670	539,365
売掛金	1,789,260	1,266,989
製品	8,540	9,160
仕掛品	1,105,302	1,578,516
原材料及び貯蔵品	325,843	411,879
預け金	2,500,000	2,400,000
その他	118,376	250,985
貸倒引当金	△20,100	△15,200
流動資産合計	7,071,768	7,015,544
固定資産		
有形固定資産	748,210	781,024
無形固定資産	39,862	71,865
投資その他の資産		
その他	415,495	417,604
貸倒引当金	△1,400	△1,400
投資その他の資産合計	414,095	416,204
固定資産合計	1,202,168	1,269,095
資産合計	8,273,937	8,284,639
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	780,766	701,959
買掛金	295,120	534,410
短期借入金	50,000	50,000
未払法人税等	76,189	16,799
前受金	45,334	34,618
賞与引当金	137,085	139,553
受注損失引当金	130,000	195,000
その他	265,948	199,676
流動負債合計	1,780,445	1,872,017
固定負債		
退職給付引当金	564,164	564,263
その他	27,130	27,130
固定負債合計	591,294	591,393
負債合計	2,371,740	2,463,410

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,440,000	1,440,000
資本剰余金	1,203,008	1,203,008
利益剰余金	3,367,988	3,286,776
自己株式	△108,528	△108,627
株主資本合計	5,902,467	5,821,158
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△271	70
評価・換算差額等合計	△271	70
純資産合計	5,902,196	5,821,228
負債純資産合計	8,273,937	8,284,639

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	2,152,058	2,391,457
売上原価	1,633,144	1,856,891
売上総利益	518,913	534,565
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	116,490	119,451
賞与引当金繰入額	32,850	33,085
貸倒引当金繰入額	△4,100	△4,900
その他	377,172	417,686
販売費及び一般管理費合計	522,412	565,322
営業損失(△)	△3,499	△30,757
営業外収益		
受取利息	4,069	3,838
固定資産売却益	-	3,239
保険解約返戻金	2,463	-
その他	1,932	1,175
営業外収益合計	8,465	8,253
営業外費用		
支払利息	173	142
固定資産売却損	540	-
固定資産除却損	139	1,941
為替差損	-	882
その他	11	0
営業外費用合計	864	2,966
経常利益又は経常損失(△)	4,101	△25,470
特別利益		
受取保険金	-	61,380
特別利益合計	-	61,380
特別損失		
災害による損失	-	57,708
ゴルフ会員権退会損	300	-
特別損失合計	300	57,708
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	3,801	△21,798
法人税等	1,200	△6,800
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,601	△14,998



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	3,801	△21,798
減価償却費	43,823	42,571
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△13,772	98
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,100	△4,900
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,035	2,468
受注損失引当金の増減額(△は減少)	11,000	65,000
受取利息及び受取配当金	△4,069	△3,838
支払利息	173	142
固定資産除却損	63	1,643
固定資産売却損益(△は益)	540	△3,239
売上債権の増減額(△は増加)	517,168	671,576
たな卸資産の増減額(△は増加)	△201,825	△559,870
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△9,831	△132,504
仕入債務の増減額(△は減少)	△26,046	179,859
その他	△31,245	△93,685
小計	286,714	143,523
利息及び配当金の受取額	0	3,838
利息の支払額	△176	△146
法人税等の支払額	△29,120	△59,338
営業活動によるキャッシュ・フロー	257,417	87,876
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△18,773	△81,443
有形固定資産の売却による収入	48	3,240
無形固定資産の取得による支出	△1,249	△35,812
保険の解約による収入	9,615	-
ゴルフ会員権の退会による収入	2,500	-
預け金の増減額(△は増加)	△100,000	100,000
その他の収入	82	10,041
投資活動によるキャッシュ・フロー	△107,776	△3,974
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△83	△98
配当金の支払額	△98,442	△65,830
財務活動によるキャッシュ・フロー	△98,525	△65,928
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	51,114	17,972
現金及び現金同等物の期首残高	509,790	555,874
現金及び現金同等物の四半期末残高	560,905	573,847

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(2018年9月4日の台風21号による被害の発生)

2018年9月4日の台風21号の影響による被害を受けたことに伴い、当第2四半期累計期間において、「災害による損失」として事業資産の修繕費用等57,708千円を特別損失に計上しております。

また、台風に係る保険金額として保険会社から提示を受けた金額61,380千円を「受取保険金」として特別利益に計上しております。